

能登半島地震に関する支援活動方針について

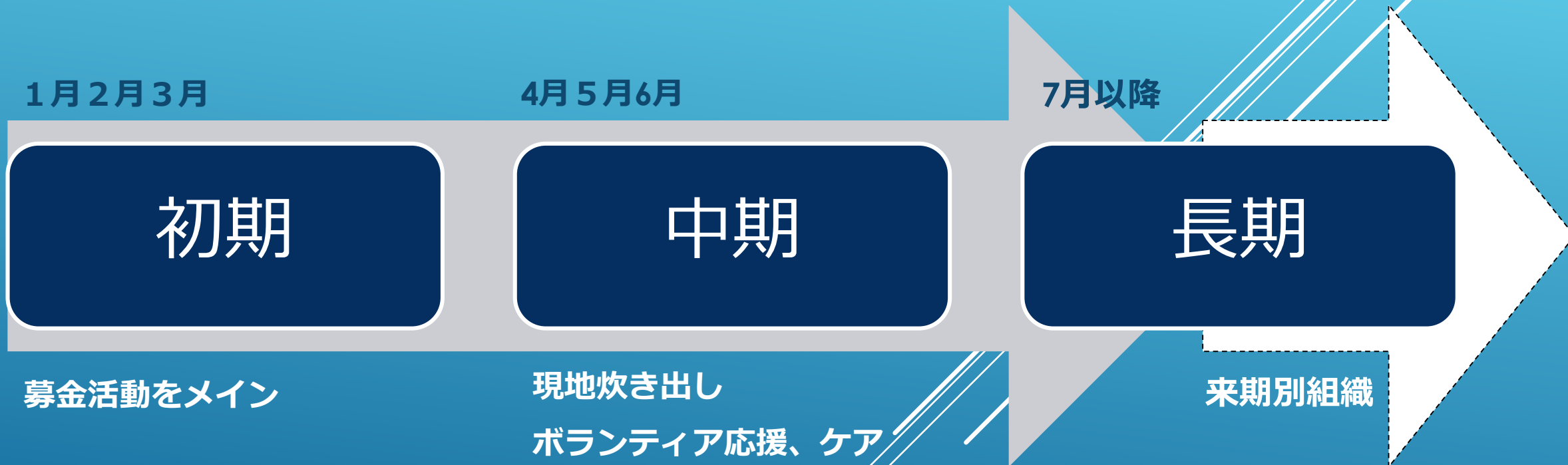


335-B地区 災害対策委員会

地区ガバナー 西尾 良典

335-B地区アラート委員会

能登半島地震に関する支援活動方針



現状の初期段階では、日々変わる被災地の状況、ニーズに迅速に対応する為にも、
現地ライオンズを資金面でのサポートする事に注力する事で決定しました。

335-B地区アラート委員会 能登半島地震に関する支援活動方針

初期対応 (期間 1月、2月、3月を想定)

- 現地被災状況を鑑み、また地理的な距離の問題、積雪等の気候問題から現地への訪問は控え、335-B地区内にて実行できる支援をメインに考える。
- 現時点では募金等の支援金を集め、現地、被災地を側面からサポートする事に注力する
- 335-B地区内の各クラブに、LCIF支援金専用口座への協力と合わせて、被災地への支援金を集める募金活動の開催を依頼する
- 数ある支援先の1つとして、被災地区334-D地区の開設した専用口座への資金提供を335-B地区として推奨する。
- ライオンズがライオンズを直接支援することで、間接的に被災地を支援し、ライオンズの力を集結する事を目指す。

中期対応目標 (期間 4月、5月、6月を想定)

- 中期的には、初期の混乱状況も少しずつ改善されている事を前提に、335-B地区メンバーにて現地訪問のボランティア活動を計画、準備、実行を目指す。
- この中期段階においても、まだ炊き出しが必要な状況であるか？またはどのような支援ニーズがあるか？を現地ヒアリングを行い、ニーズに沿った支援を行えるよう準備し実行を目指す。

長期対応目標 (期間 7月以降)

- 長期的対応に関しては、今期我々のアラート委員会の任期が7月末の為、7月よりスタートしている新しい組織、アラート委員会をメインに活動内容を検討、スムーズに引継ぎが出来るように、新組織の応援を側面から行う。

335-B地区アラート委員会 能登半島地震に関する支援活動方針

数ある支援先の中から、335-B地区アラート委員会では、ライオンズがライオンズを直接支援することで、間接的に被災地を支援し、ライオンズの力を集結する事を旨とする為、被災地区334-D地区が開設した下記の専用口座への資金提供を推奨いたします。

支援金・資金 送金先 推奨口座

- 銀行名 北國銀行 浅野川支店
- 口座 普通預金 口座番号24868
- 口座名義 ライオンズ国際協会334-D地区
会計 中西祐一

注1) 1月3日付でLCIFより発信されました、会員1人あたり2,000円を目安とした支援のお願いとは異なりますので十分ご注意を頂きますようお願い申し上げます。

注2) お振込みにつきましては任意となり、期限は約1ヵ月を目途にお願いいたします。

能登半島地震の被災地支援（中長期計画の各問題点や検討事項）

物資支援

- 被災地ニーズの把握、物資運搬方法、運搬に係る費用
- 物資保管場所、仕分けの手間、被災地最前線への運搬

現地へのボランティア派遣

- 遠方の為、移動経費、コスト、手段、宿泊場所、日程、期間
- 現地ニーズの把握、時期により被災地のニーズが変化、（中期以降にしか対応は困難）
- 何が出来る？ 支援側のキャパシティの問題、マンパワーの問題、経験値

能登半島地震の被災地支援（335-B災害対策委員会）

2023～2024年度
災害対策委員会

本部長 西尾良典（大阪北）
副本部長 古川繁浩（堺）
副本部長 笹部美千代（岸和田コスモス）
本部長補佐 森田健一郎（吹田江坂）
本部長補佐 吉田敏明（大阪北）
アラートコーディネーター 植本景太郎（大阪福島）
アラート委員長 中道健太（守口）

災害対策委員長 木元司（大阪天満）
〃 加賀元久（大阪城東）
〃 板谷雅史（大阪すみのえ）
〃 松本直樹（豊中）
〃 井出義晴（高槻）
〃 定正幸（堺）
〃 森口一郎（泉佐野中央）
〃 竹内和彦（和歌山）
〃 谷川和久（南部）
〃 池田和弘（東大阪菊水）
〃 竹井智子（南大阪みささぎ）

災害対策副委員長 各ゾーン・チェアパーソン

能登半島地震に関する 現地334-D地区ガバナーからのメッセージ

(西尾ガバナーより受領)

(発信：2024年1月13日)

ガバナーの皆様へ

1月 1日午後4時に能登半島を震源とする、令和6年能登地震が発生し、テレビ新聞等で報道されている様に、石川県にとって未曾有の被害をもたらされました。

初動の中で能登半島への道路がいたる所で寸断され、被災地の救援、人命救助の車輛を優先する県の方針に従い、特にガバナーの皆様にはライオンズメンバーのボランティア活動を自制して頂くようお願いしました。ご協力頂きましたこと、感謝致します。

震災発生以来、13日を迎え、その間多くの皆様から、ご心配のメールやご支援のお電話を頂き、感謝申し上げます。初動の人命救助、捜索も自衛隊、消防隊、警察隊等広域にわたる他府県から支援に来て頂き、復旧、復興にはまだまだ時間がかかりますが、新聞に掲載されている、被災地からの1.5避難所、2.0避難が進められ、少しずつですが、復旧に向かっております。

334-D地区災害支援対策本部は、これからの被災地の7クラブの支援、被災地市町社協との連携の下に、支援計画を立て、更なる支援の輪を広げて行きたいと思っております。

どうぞ、被災地の復旧復興にご支援賜りますようお願いいたします。 334-D地区ガバナー 小出進

能登半島地震に関する 複合ガバナー会議のメッセージ

(西尾ガバナーより受領)

(発信：2024年1月14日)

複合ガバナー会議が開催され、被災地の複合議長の報告を受けた内容

- ①被災したライオンズクラブのメンバーの安否不明者が多く準地区および複合地区で協力して対応にあたっている。(あるクラブは半数が不明となっている)
- ②日本ライオンズ対策本部はすでに開設済み、334-D地区対策本部を開設した
- ③クラブとクラブの交流は基本的にOKですが、必ず支援側と受援側の地区への報告をお願いしたい
*不審者が紛れ込むため
- ④一般からの支援物資は受け入れるが、仕分け配送作業等が困難なため、使用せず市の倉庫に保管するだけになっているので今は考慮してほしい。体制を整えばこちらから必要な物資を要請する予定。
- ⑤支援に関して急ぎませんが、現金が有難い。
- ⑥334-D地区の支援金受入口座の開設が可能になったので、来週の時点で日本ライオンズから正式に文章を発信する。

※来週正式に日本ライオンズから通達が出される予定、届き次第案内します。

LCIFを通じての支援金は復興支援金の要請ですが任意であり、地区として目標額は設定していません、皆様のご厚意におまかせします。